

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月8日
【四半期会計期間】	第57期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	株式会社銀座ルノール
【英訳名】	GINZA RENOIR CO.,LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小宮山 誠
【本店の所在の場所】	東京都中野区中央4丁目60番3号
【電話番号】	03(5342)0881(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 遠藤 芳子
【最寄りの連絡場所】	東京都中野区中央4丁目60番3号
【電話番号】	03(5342)0881(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 遠藤 芳子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第1四半期連結 累計期間	第57期 第1四半期連結 累計期間	第56期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 6月30日	自2019年 4月1日 至2019年 6月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (百万円)	1,997	2,082	7,968
経常利益 (百万円)	134	239	505
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	74	145	122
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	72	148	121
純資産額 (百万円)	5,698	5,812	5,753
総資産額 (百万円)	6,698	6,769	6,738
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	12.17	23.78	20.00
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	12.15	23.76	19.97
自己資本比率 (%)	84.5	85.2	84.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1)財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移したものの、個人消費については依然として弱さがみられます。また、米中貿易摩擦を背景とした中国経済の減速などにより、世界経済への影響が懸念され、実体経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する喫茶業界におきましては、人材採用難に伴う人件費の上昇に加え賃借料の高騰や競合各社による競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは2020年4月に施行される受動喫煙防止法に対応する為、分煙されていない店舗の内12店舗の改装を行い完全分煙といたしました。

今後も、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

また、店舗数につきましては、119店舗(内2店舗はFC)であります。横浜元町店につきましては、現在改装中であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,082百万円(前年同期比84百万円増)、営業利益は230百万円(前年同期比108百万円増)、経常利益は239百万円(前年同期比104百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は145百万円(前年同期比70百万円増)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、6,769百万円となり前連結会計年度末に比べ30百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が36百万円増加したことによるものであります。

負債は957百万円となり前連結会計年度末に比べ28百万円の減少となりました。これは主に、流動負債のその他が41百万円増加したものの、賞与引当金が58百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は5,812百万円となり前連結会計年度末に比べ59百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が59百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は85.2%(前連結会計年度末は84.7%)となりました。

#### (2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3)研究開発活動

該当事項はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,252,004	6,252,004	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,252,004	6,252,004	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2019年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年4月1日 ~ 2019年6月30日	-	6,252,004	-	771,682	-	1,062,078

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

( 6 ) 【議決権の状況】  
【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 147,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,103,800	61,038	-
単元未満株式	普通株式 704	-	-
発行済株式総数	6,252,004	-	-
総株主の議決権	-	61,038	-

(注)「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式26株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
㈱銀座ルノアール	東京都中野区中央 4丁目60番3号	147,500	-	147,500	2.4
計	-	147,500	-	147,500	2.4

(注)当第1四半期会計期間末の自己株式数は、147,526株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,045,394	2,000,358
売掛金	95,975	95,748
商品	23,420	23,779
その他	184,233	202,735
流動資産合計	2,349,023	2,322,622
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,623,736	3,661,288
減価償却累計額	2,616,259	2,614,686
建物(純額)	1,007,477	1,046,602
工具、器具及び備品	352,846	351,360
減価償却累計額	302,060	303,214
工具、器具及び備品(純額)	50,785	48,146
土地	518,173	518,173
リース資産	9,000	9,000
減価償却累計額	7,950	8,400
リース資産(純額)	1,050	600
その他	2,454	2,454
減価償却累計額	2,454	2,454
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	1,577,486	1,613,522
無形固定資産		
ソフトウェア	7,884	6,946
無形固定資産合計	7,884	6,946
投資その他の資産		
投資有価証券	358,118	360,679
長期貸付金	68,666	67,599
敷金及び保証金	1,859,517	1,872,443
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	262,282	260,906
その他	155,787	164,813
投資その他の資産合計	2,804,372	2,826,442
固定資産合計	4,389,743	4,446,911
資産合計	6,738,766	6,769,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	93,955	86,165
短期借入金	80,000	80,000
リース債務	1,225	703
未払法人税等	111,372	108,089
賞与引当金	87,970	29,530
株主優待引当金	18,821	15,000
その他	332,119	373,737
流動負債合計	725,463	693,225
固定負債		
役員退職慰労引当金	73,953	77,534
退職給付に係る負債	151,521	151,788
その他	34,821	34,821
固定負債合計	260,296	264,144
負債合計	985,760	957,370
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	771,682	771,682
資本剰余金	1,063,097	1,063,097
利益剰余金	3,973,182	4,032,903
自己株式	114,191	114,191
株主資本合計	5,693,769	5,753,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,570	16,528
その他の包括利益累計額合計	14,570	16,528
新株予約権	4,160	4,160
非支配株主持分	40,506	37,984
純資産合計	5,753,006	5,812,163
負債純資産合計	6,738,766	6,769,533



(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,997,239	2,082,059
売上原価	239,224	234,984
売上総利益	1,758,014	1,847,075
販売費及び一般管理費	1,635,617	1,616,654
営業利益	122,396	230,421
営業外収益		
受取利息	474	1,182
受取配当金	1,081	1,201
受取家賃	7,306	7,252
受取保険料	5,186	161
その他	854	980
営業外収益合計	14,902	10,778
営業外費用		
支払利息	138	120
不動産賃貸費用	1,037	984
撤去費用	17	92
その他	1,397	885
営業外費用合計	2,592	2,082
経常利益	134,706	239,116
特別損失		
固定資産廃棄損	4,174	1,410
特別損失合計	4,174	1,410
税金等調整前四半期純利益	130,532	237,706
法人税等	54,583	91,444
四半期純利益	75,949	146,262
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,714	1,078
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,235	145,183

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	75,949	146,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,212	1,957
その他の包括利益合計	3,212	1,957
四半期包括利益	72,736	148,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,022	147,141
非支配株主に係る四半期包括利益	1,714	1,078

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	52,321千円	36,484千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	85,378	14	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	85,462	14	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

当社グループは、喫茶等事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	12円17銭	23円78銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	74,235	145,183
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	74,235	145,183
普通株式の期中平均株式数(株)	6,098,478	6,104,478
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	12円15銭	23円76銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	11,836	6,892
(うち新株予約権(株))	(11,836)	(6,892)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

株式会社銀座ルノアール

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 戸田 仁志 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大屋 浩孝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座ルノアールの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座ルノアール及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。